

新型コロナウイルスに負けない!

道母連各種事業報告 No.1

母子福祉センター事業

新型コロナウイルスの影響によって、3月～5月の宿泊・貸室のご利用はほとんどありませんでした。非常事態宣言が解除されるまで今できることをしようと職員全員で意見を出し合い、まずは施設内の清掃や整理を徹底し、今後の除菌・消毒の方法について繰り返し考えました。

6月に入り、少しずつ貸室のご利用や問い合わせが増え、安全な距離を保つための設営や消毒・清掃など、職員一同、緊張感をもって頑張っています。食堂では、ビニールカーテンの設置や座席の間隔を空けること、調味料を小分けにするなど常に工夫しながら、近隣のお客様にご利用いただいています。今後安心して旅行が出来る時期になりましたら、是非とも母子福祉センターの宿泊をご利用ください。最後にりましたが、大変な時期にマスクや消毒ジェルを皆さまからご寄付いただけたことに大変感謝しております。有難うございました。

(成田久恵)



最大 45 人に限定の研修室の配置工夫



厨房とお客様の間にビニールカーテンを設置

調味料を小分けに



入り口には消毒ジェル



各所に注意喚起のチラシ

いつも以上に丁寧な清掃を



間隔を空けたお客様の座席

